

# A.C.P.C.

ALL JAPAN CONCERT TOUR PROMOTER'S CONFERENCE

## INFORMATION NEWS

ZONING 8  
1992, FEBRUARY

発行元▶社団法人全国コンサートツアー事業者協会  
発行人▶井上隆司 〒150 東京都渋谷区恵比寿西2-7-2  
ワインズビル6F 編集人▶永田友純  
編集スタッフ▶恒田優子、岸本裕見子  
Editorial & Art Direction▶イニング  
年3回発行  
¥150



### 特集: ASIAN POWER

～今、なぜアジアか?～

- ★3人の音楽人が語る、アジアへの想い
- ★アジアの娯楽とメディア事情

INU.

# ASIAN POWER

今、なぜアジアか?

日本の音楽人が、業界がアジアに向けてエールを発している。  
人々の力に沸きかえる混沌の地。  
生きた音楽と歌声が響く、熱い心をもった国々へ。  
アジアに何かが起こる!?

★Special Interview-Part 1

(社)全国コンサートツアー事業者協会(ACPC)理事長 井上隆司

## アジア独自の音楽文化を求めて、 動きだした日本のプロモーター。



### ●プロフィール

井上 隆司(いのうえ たかし)  
昭和27年9月6日生。46年に愛知県立明和高等学校を卒業。48年には早くもサンデーフォークプロモーションを設立。現在、それに加えてチケットぴあ名古屋を経営する。ACPCの理事長を務めるかたわら、(社)スポーツ産業団体連合会の理事に就任。その興味は音楽に限らず。

ツアーやというメディアを通してアジア全体の音楽を育てたい。

ACPCが主催するイベント「こどもえいど」のテーマは、日本を含め、アジアとその次代の音楽を背負って立つこどもたちに向かれている。また、アジア各国に拠点を置きハードの持込みを試みるプロモーターもある。でもなぜ、アジアなのか!? ACPC理事長であり、名古屋サンデーフォークの創立者、日本のプロモーターの歴史を築き上げてきた重要人物の一人である井上氏に、コンサートツアーや事業者たちのアジアへの着目点とその理由を訊ねてみた。

日本でコンサートが媒体になったのはそんなに昔のことではないから、テレビ局の媒体が一番強いと考える人は僕達よりもっと年上になるとたくさんいるが、年下になるとコンサートが媒体力を持っていると思っている。ぼくらがちょうど境目じゃないかな。同じ世代でも考え方方が違う人がいるほど短い期間で変わってきたから。テレビ、ラジオ、新聞という一般的な社会でいわれるメディアは音楽の媒体には成りえなかったんですね。音楽のメディアは唯一、ライブコンサートだったと

いうことです。ここに至るまで10年は経っていないでしょうね。

さて、アジア全体ではどうか。フィリピンや韓国などでは、まだテレビでヒットしたものを興行として扱っているのが現実でしょう。それらの国で今の音楽を支える人たちがコンサートがメディアだと考えていくとは思えません。違う世代の人たちが出てこないと変わらないでしょう。

しかし、現在の日本のようにコンサートをビジネスでとらえる考え方方は、今後アジアで

もでてくるでしょう。そして、“興行”というものが単発的なビジネスからツアーリード、アーティスト、レコードプロモーションの媒体としてとらえられるようになる。このツアーリードにおけるアジアのボーダレス化が、我々が想像する近未来の姿なのです。

ツアーリードという媒体を通して音楽を育てる。それを日本だけでなくアジアレベルに広げていけば、各国普遍的な音楽のヒットが当然でてくるであろう。そうした場合、量も質も想像したものと違うのですから、我々はそれに対応できる基礎体力をつけなければならないでしょう。プロモーターにとってもメリットのある世界、企業として安定していける世界にするために、3段階、4段階と目標を掲げていきたいです。

### 英語教育が ボーダレスのきっかけに。

経済、文化全般でボーダレスになっていく中、日本の音楽業界では言葉の問題が大きいわけです。洋楽ファンであっても“島”で理解しているわけで、必ずしも外国と同じレベルで楽しんでいる状態ではないと思います。通訳を通してでは微妙なニュアンスが違ってくるし、また逆に日本語の良さは訳されてしまうからでしょう。しかし、近い将来、学校の英語教育とは別に、若者の英語に対する興味から変わっていくのではないかでしょうか。もっとニーズとしての会話のできる英語が発達してくるでしょう。英語がポピュラーになれば日本人が創る英語の詞の素晴らしい曲ができると思います。そうすれば完全に変わってきますよ。そして、アジア、欧米にかかわらず英語が標準語になった時、日本の音楽ファンは一挙に増大するでしょう。若者たちが知りうる世界が広くなり、それがひとつボーダレスのきっかけとなるでしょう。そうなると各国オリジナリティのあるミュージックとコスモポリタンミュージックというか、どこの国でも評価されるべく音楽がもっと高度になり量も増えるでしょう。日本のプロモーターとして、全体的な見方をすればそういうところまで見通さなければならぬでしょう。

### 3つめの音楽、文化。

以前、僕らが外国の音楽をコピーした時代

があって、外国音楽をカバーしていく中で基本的なことを知って、つぎは自分のメッセージとかを盛り込んでいって日本のフォークソングができたわけです。外国の音楽性を感じて独特のものができたが、問題はそれが欧米では受けていないということですね。それは先程の言葉の問題につながります。

ニューミュージックという呼び方があるが、それは新しい音楽という意味でそれを指していたのでしょうか。日本独自の音楽でもない西洋のそれでも新しい音楽を。

他のアジアの国でいえば、「昂」が香港で受けたのは、それが香港のニューミュージックだったのである。または、日本が西洋音楽をカバーしていた頃と同じ状況か…。日本がそうであったように、香港で新しい音楽が生れ、そして両国の流れが重なると、そこにまた新たな音楽ができるでしょうね。香港の音楽、日本の音楽、そして香港と日本の合流によって生れた3つめの音楽が。

アジアで日本のアーティストがヒットをだし、注目を浴びたからアジアツアーリードが始まるというのは過去にたくさんありました。それはあくまでも単発的なことで、本当のボーダレスではないと思います。それぞれの国との文化が混ざり合ってボーダレスになるには、共通な言語、感覚が必要不可欠要素でしょうが、本当のボーダレスは、それによってもう一つの文化ができることがあります。

今、我々プロモーターが目指しているものはヒットがなくても交流が進む世界です。日常的に、恒常に。

### アジアのプロモーターは 将来組織化される。

今後、日本の方法論をアジア各国に持ち込むことはあります。しかし、プロモーター自体が持ち込まれることはありえないでしょう。プロモーターはあくまでも地域に根ざしているものですから、それぞれの国にプロモーターが育つことが期待されます。そして、将来アジアのプロモーターは組織化されるでしょうね。東京で組んだツアーリードが日本全国を巡回するように、たとえば日本で組んだビッグアーティストのツアーリードがワールドツアーリードみたいな感じでアジアを回るということはあるでしょう。

ただし、アジア文化圏のようなものは、組織

が作るものではなく、大衆が作っていくのでしょう。言語の弊害がなければそれはもっと早いでしょうね。第二の国語として、70%でも80%でも子供達が英語を理解するようになれば、音楽も映画も本も、その世界の広がりは違ってくるし、いっぺんに欧米の波が押し寄せてくるでしょう。そして欧米そのものになるのではなく、例えばアジアの儒教を中心とした考え方との融合で新しいものができるだろうね。

アジアに共通する新しい第3の音楽、文化が生れる可能性を示唆する井上氏は、同時に、日本が新しいアジアの文化圏から取り残される危機を感じているという。

例えば、A国、B国、C国とそれぞれの文化がある、それにプラスアルファーしてX国の影響を受け、BX、CXという新しい文化が出来たが、A国だけが分からぬ状況。それは今までとは違う価値観のアジア文化ができたとしましょうか。フィリピン、香港では理解できるが日本だけが理解できない、という可能性があるということです。

これには、日本の英語教育の問題が大きく関わるでしょう。英語の堪能なアジアの国が直接欧米とコンタクトを取るようになったら、日本としては両者の間に介入するのは困難でしょう。

そうなる前に、アジアと欧米の接点として日本を、東京をキーステーションに位置付けたい。そのためにも、今我々が動かなければなりません。

日本プロモーター業界の先駆者の一人、井上氏は、社会的にビジネスとして確立されたあるコンサートツアーリード事業の、アジアにおける未来の夢を見つめている。そして、全国プロモーターをリードするべく、実現のために動き始めている。

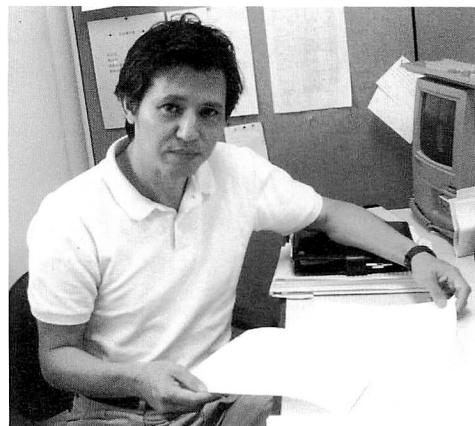


★Special Interview-Part 2 (株)麻田事務所 代表取締役 麻田 浩

# アジアの音楽人に期待される日本。 お互いの権利確立をめざして。

## ●プロフィール

麻田 浩(あさだ ひろし)  
昭和19年12月25日生れ。明治学院大学在学中、マイク真木らとMFQ(モダン・フォーク・カルテット)を結成、アーティストとして活動を始める。その後、渡米しB.ディラン、E.アンダーソン等のコンサートを見て回る。帰国後、E.コステロ、B-52などのアーティストを日本で初めてプロデュース。'86年には(株)麻田事務所を設立、日本人アーティストのマネージング及び外国人アーティストの招へいを行なっている。



学生時代にはマイク真木らとバンドを組み、解散後はアメリカへ渡って、B.ディラン、M.ウォーターズ、サイモン&ガーファンクル等のコンサートに遭遇。フラワー・ムーブメントを肌で体験する。帰国後は音楽アーティストとしてだけでなく、映画界にも進出。また、E.コステロ、T.ヘッズ等のコンサートを日本で初めてプロデュースするなど、西洋アーティスト招へいの先駆者でもある。欧米の音楽業界と日本との接点として活躍し続ける麻田氏が、アジア圏へと足を踏み入れ、その目で見、感じた音楽の現状はいったいどのようなものだったのか。

## アジアは日本に期待している。

アジアへは漠然とした興味はありました、自ら進んでというほどではなかったんです。

たまたま、スープ・レコードでアジアの音を聴く機会があり、それがとても面白かったから興味を持つようになりました。アフリカ、ジャマイカ、アラブの音楽がアメリカ、イギリス、そしてフランスを通して出ていくというパターンを見てきたので、もしかしたら日本がアジアに対してそういう役目にまわらなければいけないのかなと思っていました。それにアジアは唯一、世界に紹介されていないというところで興味が湧きました。アジアの中でも経済的にも豊かで、外国と対等にビジネスできる立場にあるのだから、それは日本がやるべきだ、とキングサンニアデのプロデューサーに言われたこともきっかけです。

音制連の調査でアジアの音楽状況を調査に行なったことがあるんですが、外国のメジャーなレコード会社はすでに入っているのですが、以外と日本に対する期待度が高く、アメリカなどの西洋人ではわからない同じ感性をもつ

たアジア人ということがあるのかな、各国で非常にたくさんの会いたいという人がいて、休みがないくらい。これには驚きましたね。向こうで会った人々は著作権、レコード会社、出版関係の方々でコンサート関係はあまりいませんでしたが、日本からの外圧をもうちょっと欲しいとか、言われましたよ。

現在のままでは、アジア各国がすぐに変わることはないですね。聞いた話では、タイなどは海賊版がすごく、ちゃんとしたレコード会社でもヒットの兆しがあると自ら海賊版を出して少しでも利益をあげようとしている。タイに限らず、アジアはそういう状況の国があるところですからね。でもこれから変わらざるをえないでしょう。

## 海賊版、著作権問題がビジネスのネックに。

ECやアメリカの統合をみても残されてい

## 山口岩男

### 2・10 NEW SINGLE RELEASE GRADUATION DAY

◎ Good bye so long ◎ CODA-8971 ¥900(税込)

### 3・10 NEW ALBUM RELEASE I AM A ROCK

CD: COCA-9535 ¥3,000(税込)



#### IWAOコンサートツアー "I AM A ROCK"

- 3・13 大阪御堂会館
- 3・14 名古屋テレビアホール
- 3・17 神奈川県民小ホール
- 3・26 大宮ソニックスシティ小ホール
- 3・30 仙台シルバーセンター(予定)
- 4・1 福岡都久志会館
- 4・2 熊本メルパルクホール  
(中旬) 東京地区

るのはアジアだけなんです。大きなくくりから考えると、まあソ連がどうなるかは別として、ヨーロッパ、アメリカ、アジアになりますからね。いつかアジアはまとまっていかないといけないと考えると、経済的にも引っ張っていけるのは韓国か日本でしょう。でも、文化圏としてのアジアという位置づけは、日本人が一番意識してないと思います。日本だけが乗り遅れてしまう危険性はありますね。

実際に行って聞いた僕の主観ではありますが、アジアの人で日本と仕事をしたい、日本を目標としている人は多いです。でも、向こうの期待に日本が応えているとはまだいません。現在、日本のレコード会社も進出しているので、これから本格的になっていく思います。ただ、プロダクションの代表とし

て考えると難しいですよ。アジアは日本をマーケットと考えていますが、日本はというと海賊版、著作権問題もありますし、あまりビジネス的には考えていません。もう少し情勢を見たい、というところです。

人材的にアジア各国には素晴らしい人がいます。西洋人に負けないほど。日本はあまり外に出たことがないですから、だからシンガポールのような英語も中国語も話せる人のいる国が、日本を追い越して先に世界へ出て行くかもしれませんね。

### 日本でヒットしたから、というワケにはいかない。

かつて、香港などでは西城秀樹とか沢田研二がブームでしたが、今では日本より香港の

アーティストの方が力をつけています。押しかけ的に行ってサッと帰ってきた日本には、何も残りません。それにひきかえ、彼らは日本のアーティストの良いところをうまく取り入れて独自のアーティストを生み出しますね。インドネシア、タイなどではオリジナルのアーティストがいますが、台湾、香港は日本アーティストの影響が強いようです。

日本の曲に限りませんが、彼らは外国の歌にすぐ自分たちの歌詞をつけて歌いますが、歌詞が変わっているので、その国の歌のようになってしまいます。だから、単純に日本でヒットしたから、というわけにはいかないみたいですね。その国で受け入れる、いれない曲があるようです。アジア・オールエリア・ヒットははたしてあるかな。日本では、五輪真弓

## SPECIAL

が最もオールラウンドに受けたのではないでしょうか。アジアで受けているのはシンガーソングライターでしょうか。あと、ルックスのいい人が強いですよ。

### アーティスト、プロデューサーの権利を確立させたい。

音制連の立場から、これから日本のアーティストが出て行くためにも、ネットワークを広げて権利を確立しよう、と考えています。音制連のような団体が他のアジアの国はないので、たいへん興味を持っているようですし、向こうもアーティスト、プロデューサー共に自分たちの権利を確立させたいと思っています。今のシステムでは国際的なビジネスは成り立ちませんから、音制連としてはそ

## PA 2 RT

いった国々と情報を交換して、正当な報酬を受けられるようにすることですね。同時に、アーティストやプロデューサーサイドが意識を持ってこないと、アーティスト自身がどれだけお金がもらえるか分からぬという状態から抜け出せないでしょう。

### “こだわり”を捨てて、 frankな交流を。

たしかに文化庁あたりでもアジアで音楽会を催しているらしいんですが、それがクラシックだったりすると上流社会の人しか来なくて、それだったら日本のポップ・アーティストの方が理解を得られるのではないか。浸透力が違うと思いますよ。日本の企業がもっと文化交流を進めて行くとか、日本のお金で

## INTERVIEW

作られたいいホールがあるので、日本のアーティストが行かないのはおかしいなと思います。もっとボピュラー界のアーティストを送ったらいいのに…。

日本は歴史的にアジアに神経質になっていますが、アジアの若い人の中に歴史云々のこだわりはないと思うんです。もっとフランクにアジアに入っていけばいいと思います。

アジアからの期待を体験として実感する麻田氏は、“こだわり”を捨ててもっとフランクに、と語る。ビジネス面では著作権の問題が大きいけれど、アジアを音楽で1つにするなら、まずお互いの音楽業界へむけての意識に交流が必要なのかもしれない。

## LIVE AGAIN! JAPANESE HARD ROCK COLLECTION



### SKULL THRASH ZONE Volume I

CD▶VICL-2078

#### FLATBACKER

戦争 - アクシテント - CD▶VICL-2071  
餌 - E.S.A. - CD▶VICL-2079

#### E-Z-O

E-Z-O CD▶VICL-2072  
FIRE FIRE CD▶VICL-2080

### REACTION

AGITATOR CD▶VICL-2074

INSANE CD▶VICL-2075

TRUE IMITATION CD▶VICL-2076

REACTION CD▶VICL-2082

TWIST & SHOUT CD▶VICL-2083

### DEAD END

GHOST OF ROMANCE CD▶VICL-2073

SHAMBARA CD▶VICL-2081

### 44 MAGNUM

EMOTIONAL COLOR CD▶VICL-2077

LOVE or MONEY CD▶VICL-2084

### バウワウ

チャージ CD▶VICL-2085

シグナルファイア CD▶VICL-2037

吠えろバウワウ CD▶VICL-2059

バウワウ・スーパーライブ CD▶VICL-2060

### 紫

MURASAKI WHY NOW...? CD▶VICL-2038

## ★Special Interview-Part 3

音楽評論家 平山雄一



## こどもえいどからアジアへ。

## ●プロフィール

平山 雄一(ひらやま ゆういち)  
昭和28年1月10日生れ。一ツ橋大学社会学部卒業。バイト生活を経て、78年より音楽評論を始める。活動は邦楽が中心だが、常にグローバルな視点に立ち、対象アーティストの内面に深く切り込むその独特的評論には定評がある。朝日新聞の音楽欄、NHK-FM「サウンド・ストリート」のDJ等も担当する。現在はメルサットにてWOO音楽情報室の室長としてWOWOW等の番組で活躍中。

新聞の音楽欄、ラジオのDJ、衛星放送局では番組の要として活躍中の平山氏は、第1回の「こどもえいど」から企画・制作ブレーンとして携わり、そのコンセプト確立の重要な人物である。3回目を迎える「こどもえいど」を目前に、アジアへの想いを聞いてみた。

音で“KODOMO”ということを  
伝えたくて。

ぼくにとって「こども」とは、アーティストと互角に音楽を作っている、演出をしている人たちです。また、こどもは次代のアーティストなわけです。その中から次のステージに立つ人が出てくる、という思い入れが強いですね。

「こどもえいど」という題名については、

漢字よりひらがな、ひらがなより音、ということなんです。一番の目的はチャイルドエイドとかではなく、“すし”とか“ふじさん”とかと同じように、外国でも日本でこどものことを“KODOMO”という音で言うんだということを伝えたくてひらがなにしたのです。音で世界標準語ができるみたいに、アジア地域だけでもそうなればいいな。そういう意味でも、日本のこどもとアジア圏のこどもをひとまとめに考えられたらなと思います。

日本はこどもの環境でも特にいい方ではないでしょうか。例えば今年の夏、モンゴルがソ連から少しづつ離れようという動きがあり、こどもたちにモンゴル語や独自の文化を残そうというときに教育環境が問題になりました。そこで、モンゴルの人間国宝の方が少しでも文房具をもって帰りたいと日本へ公演に来たほど切迫した状況があるのではないかですか。

ですから、大まかな部分でこどもたちに何かをしてあげようというのが一番良いのではないでしょうか。

こどもに向けた具体的な援助はユニセフ以外では、とくに音楽の世界ではないですね。あたたとするとイギリスでボブ・ゲルドフがエイドのはしりですが“Save Our Children”がアフリカ難民という括りの中で謳われていました。ただ、あれは顕在化した難民であって、アジアの場合は恒常的にでしょう。これはなかなか難しいですよ。

日本がアジアの  
発信基地になる。

ロックというリズムスタイルはあつという間に世界中に広がって均一化されたと思うのです。その均一化が現在、多様化の時代にきているのです。ワールドビートは多様化を意

**THE BLANKEY JET CITY**  
**BANG!**

# THE BLANKEY JET CITY

# BANG! NEW ALBUM

1.22 ON SALE

CD:TOCT-6380  
¥3,000(税込) ¥2,913(税抜価格)

TOYOTA  
TOSHIBA-EMI LIMITED

TOUR LIVE 1992 「殺しに来たぜ。I love you.」 2月11日(火) 渋谷公会堂 **SOLD OUT**

追加公演決定!! 2月12日 渋谷公会堂

味し、その中で自分たちは“For ASIA”ですよね。

音楽の多様化をビジネスとして考えると、例えば、ジブシーキングスがヒットしています。あれは4拍のディスコのビートを取り入れながら、6人が一緒にギターを弾いていて微妙にずれているところが面白いです。ああいったメロディー的にもかなりの国の人と共に通するものをもって多様化している音楽が、他にも出てくるのではないかでしょうか。ビジネスになってきますよ。

そんなアーティストが日本から出るのかといつても、まだわからないですね。

ただ、日

会社もまだまだ本気で取り組んでいるように思えない。一度発想を逆転してみたらどうかと思います。相手から吸い上げるのではなく、相手に新しい音楽構造を組み立てあげるというふうに。

音楽というのは、その土地にしか通用しないものもあり、そこでの音楽産業の構造をしっかり作ってあげることがいいのではないか。その人たちの生活実感の中で見てるものを見ればそれはメッセージになりますね。政治とか宗教とかではユートピア思考の違いはありますが、大きな意味でアジアの国々は似ていますから1つだと思います。その中の共通のユートピア思考というのは出てきますよ。

## 加工していないものが集まって、1つの文化圏をつくる。

新しい文化が出てくるためには、人種の交わりがないと出てこない。人間と文化を受け入れない限りは本当のコミュニケーションは生れないでしょう。日本は外国人労働者とか意図的に混ざり合うのを避けているでしょう。東京なんてこの土壤があって外人を受け入れるようになったらあっという間にNo. 1になるでしょう。また価値観も変わってくるでしょう。良い意味でも悪い意味でも。そうなったら本物ですね。

テレビとかのアジアの番組は面白いですね。訳の分からぬところから始まって、初めは面白がるだけでいいのではないでしょうか。

加工していないものをアジアから招聘するという点で、「こどもえいど」の出演者を見ても面白いですね。

ハードに関して、現在のアジアは圧倒的にカセットですが、これからはCDでしょう。放送では衛星ですね。衛星放送は有効ですよ。「こどもえいど」をアジアに同時中継しても良いし。そうなると、アジアも1つの文化圏になりますよ、情報の統一化になるから。

音楽にのせて体で感じるアジアの国々。それぞれの加工していないものが集まって、アジア全体の文化圏がつくられる…。

今、日本のプロモーターが「こどもえいど」を通してしていることは、この“集める”作業だといえる。そして、平山氏がいうように、次代のアーティスト、新しいアジアの文化圏を創り上げるのは、これから育つ“こどもたち”なのだろう。

## SPECIAL INTERVIEW PART 3

本が何かの

基地になるような予感はします。例えば、昔なら日本人がニューヨークで演ってみたいと思っていたように、東京で演ってみたいと思うアジアのアーティストはたくさんいるんじゃないかな。そうすると、ここが基地になるでしょう。

ぼくが一番求めているのはやはり、情報があり設備も整っているところがアジアのアーティストのいろいろな発信源になることです。特にプロデュース的な面では、そこを拠点に有名なプロデューサーが出てくるでしょう。東京が、アジア発ワールドビートの発信基地になる可能性は高いですね。

しかし、ぼくらから見れば日本のレコード

### 音楽は肉体的なもの。

詞と曲の関係をいうと、日本の場合では、日本語が果たしてロックに合うかどうかという論争が70年代にあったのですが、80年代に入って慣れましたね。別におかしくないと。今、韓国がそうだだと思います。英語にコンプレックスをもつ必要はないと思います。それはアメリカがもう超大国でないとみんな思いはじめたからです。

言語に関しては、歌は原語のままでいいと思いますよ、マーケットを考えるとインタビューは英語で応えられないと広がりませんが。ただ、音楽は肉体的なもの、ボディランゲージの一種だから、どんな言語を使っても伝えられるということはすごく大事なことだと思います。

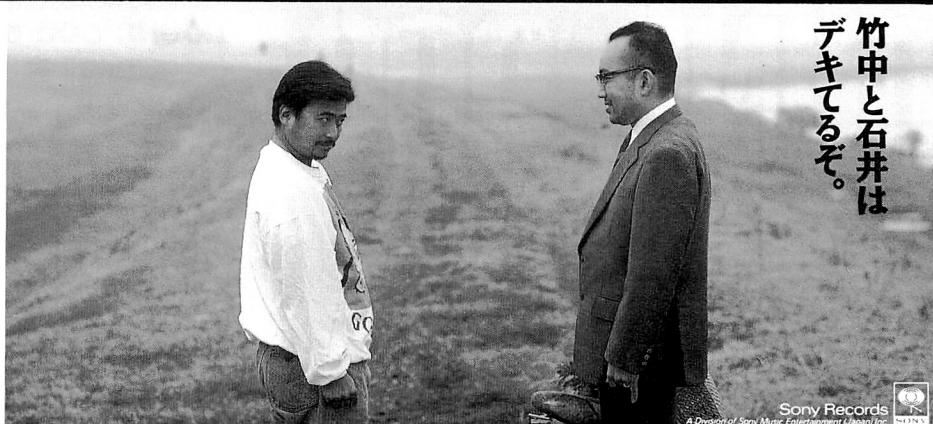
世の中には、男と女の出会いよりもロマンチックでスリリングな、男と男の出会いがあります。ビースモークとは、そんな夢多き、そして罪深き男たちのスペシャル・プロジェクトの名前です。



「MILD & WILD」P-SMOKE  
NOW ON SALE ©CD:SRC55631

税込価格¥1,600 (税抜価格¥1,553)

P-SMOKE is the special unit of two famous SMOKEY musicians.  
P-SMOKE telephone service 03/522892552



# アジアの娯楽とメディア事情

アイドル的要素の強い歌手からシンガーソングライターへと、

アジアへ出て行く日本のアーティストの質が変わった。

ワールドビートのクローズアップでアジアの音が注目され、また久保田麻琴氏のように、

プロデューサーがアジア各国のアーティストと音楽を創る時代にきている。

音楽は確実にアジア地域融合の方向へむかっているようだ。さて、では他の娯楽はどうなのか。

情報を運ぶメディアは、日本とアジアを結んでくれるのだろうか？

カラオケ、

国境を越える。

日本でカラオケブームが起こって久しいけれど、この大衆文化が東南アジアを中心に今、大いに受けている。日本人駐在員が現地へ自

活字メディアもパワーアップ。

近年まで政府による報道の規制が行なわれていた韓国だが、「87年の盧政権による「自由化」で新聞・雑誌の発行が自由になり、創刊ラッシュとなった。「89年末には日刊紙68、雑誌・週刊誌は4倍に増え800、月刊誌1800。新聞界では、料金、ページ数などカルテル的なシステムが残っていて画一的な紙面が多いが、それに反抗した進歩的な新聞も出てきた。「自由化」政策が行なわれたもう一つの国、台湾でも'88年に新聞・雑誌の検閲が撤廃されて新たな創刊が相次いだ。その結果、「90年には新聞が80社、雑誌は3600種類にも達したといわれる。情報を伝えるメディア数が急激に増えたこれらの国で、次に問われるのは情報の“質”となるだろう。

国の娯楽を持ち込んだのがきっかけとされているが、その浸透の速さは、ブームがタダモノではないことを示している。香港や台湾の街にはカラオケルーム、カラオケラウンジがあふれ、ステージまわりの演出は豪華のひと言。また、食事を囲んで、お茶を飲みながら家族で楽しむケースも多く、大人だけの娯楽ではなさそうだ。シンガポールでは、この3年間でカラオケクラブが10倍の数に増え、産業としての成長には目覚ましいものがある。中国の都市では、映画とテレビぐらいしかなか

日本との関係でその情報のバランスが問われるアジアの国も多い。例えば、タイ。タイの新聞が取り上げる日本関連のニュースは政治、経済、社会から、文化、風物まで多角的方面に及んでいるが、日本の新聞が取り上げるタイ関連の記事といえば、発展途上国の一例としてや外国人労働者の問題などがほとんどで、量もタイの6分の1。偏った情報が、その国の偏ったイメージをつくりかねない。

フィリピンではこの数年、若い世代を中心にコミックが流行っていて、一般週刊誌を追

かったナイトライフが、カラオケの上陸で夜の街が一気に活気づき、たいへんな盛り上がりようだ。

アジアでのカラオケブームのスゴさを見せしめてくれたのが、シンガポールで開催された「アジア・カラオケ選手権大会」。参加国は台湾、香港、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイの6か国で、予選への参加者は老若男女合わせて5千人に達したとか。まさに、アジアに共通のカラオケ文化が生まれ、育っているといえよう。民族、習慣、言葉こそ違っても、カラオケブームの根底には“歌は庶民の娯楽”という普遍的なものが流れているようだ。

い越す勢いだという。また雑誌・コミックの部数を合わせた数が500万を優に超え、新聞の400万部を上回っているというから、その浸透ぶりにはすごいものがある。最近日本でも活字だけのものより「まんが〇〇」というようなビジュアルによる話の展開で理解できるものが流行ったけれど、それと同じような現象が起きているのだろうか。

# OUND DOG

2.22  
ON  
SALE

NEW ALBUM  
**BRIDGE**

CD:AMCX-4131 CT:AMTX-4131 税込定価¥2,900  
NEW SINGLE 2.9 ON SALE  
'92アヒスースーパードライCMソング  
**BRIDGE**～あの橋をわたるとき～  
C/w BRIDGE ～あの橋をわたるとき～(オリジナルカラオケ)

SCD:AMDX-6048 税込定価¥900



MMG Inc.

## HOUND DOG 6+10 Concert Tour 1992

### BRIDGE

2.8(金) 日本武道館	3.13(金) 長野県民文化会館	4.11(土) 函館市民会館
9(土) 日本武道館	14(土) 長野県民文化会館	14(火) 沼津市文化センター
10(月) 日本武道館	17(火) 名古屋市内・白鳥センチュリーホール	18(土) 福岡サン・レスホール
15(土) 日本武道館	18(水) 名古屋市内・白鳥センチュリーホール	19(日) 福岡サン・レスホール
16(日) 日本武道館	20(金) 名古屋市内・白鳥センチュリーホール	24(金) 福島県文化センター
25(火) 茨城県民文化センター	21(土) 名古屋市内・白鳥センチュリーホール	25(土) 山形県民文化センター
26(水) 茨城県民文化センター	22(日) 名古屋市内・白鳥センチュリーホール	27(月) 仙台サンプラザ
3.3(木) 大阪城ホール	31(火) 札幌厚生年金会館	28(火) 仙台サンプラザ
4(金) 大阪城ホール	4(水) 札幌厚生年金会館	30(木) 岩手県民会館
6(土) 大阪城ホール	5(木) 札幌厚生年金会館	5.1(金) 秋田県民会館
7(日) 大阪城ホール	6(金) 鉄路市民文化会館	3(木) 青森市文化会館
8(月) 大阪城ホール	6(月) 北見市民会館	4(月) 八戸市公会堂
10(水) 静岡県民文化会館	8(水) 幕張市民文化ホール	
11(木) 静岡県民文化会館	9(木) 旭川市民文化会館	

## アジア映画事情

香港のカンフー映画だけでなく、最近では東京国際映画祭などアジア各国の映画が見られる機会が多くなり、映画ファンのアジアに対する関心が高まっている。例えば、台湾のホウ・シャオエン監督の描く、人々の純粋な絆や美しい田園風景に多くの日本人が魅せられ、その高い芸術性は世界中で絶賛されている。さて、ではこれらのすばらしい作品を生み出しているアジアの国々で、現地の人々は映画をどう楽しんでいるのだろう。

ベトナムのハノイには現在、約10軒の映画館があり、レンタルビデオの普及に押されつゝも庶民の代表的な娯楽とされている。夜の上映が近づくと映画館の前にはたくさんの人々が集まり、辺りの歩道は有料の自転車置場と化すらしい。ポップコーンならぬ西瓜の種を手にした観客は、決して黙って映画を見る

ことはなく、好きな俳優が出てきたり、いい場面になると「ハイクワー（いいぞ！）」などと口々に叫ぶ。ヤクザ映画で「よっ、けんさん！」と掛け声していた、ちょっと昔の日本と同じ風景がそこにあるわけだ。国内映画だけでなく、外国映画も上映されるが、字幕や吹き替えはなく、画面に合わせてベトナム語に訳されたセリフを一人の俳優が棒読みにしたテープが流される。日本の「寅さん」もけっこう人気があるらしい。

ラオスでは、一日に一度だけ上映される映画を楽しみに若者たちが集まり、夜の8時ごろには映画館のある通りなど彼らの嬉々とした声でぎやかにわきかえる。上映されているのは香港のアクションものやタイのお化け映画などで、自国で作られた映画はまだまだ少ないという。田舎の方では、村のお祭りなどの際に、広場に大きな白幕を張り、ござだけの観客席を設けた野外シアターが作られる。人々は“シネ”と呼び、村中こそこの星空の映画会を楽しんでいる。娯楽の少ないこの国だが、テレビの普及が進み、村にある1台のテレビに群がっていたのが、一家に1台の時代に入っているという。娯楽の単位が大

勢から個人へ、ちょっと寂しい気もする。

政治的に混乱の静まっていないカンボジアでは、映画会社の資本力もだま小さく機材は家庭用のビデオカメラに手製の反射板だけというの大半だという。それでも映画に強い情熱を傾ける人たちは、別に収入源をもちながら映画を作り続け、数年前から上映作品の主流が外国作品から自国のビデオ映画に変わってきた。占いなどで親が結婚相手を決める習慣の残るこの国では、自由恋愛を描いた作品が多く見られる。映画館でデートをするのもたいてんでも2つある入口から別々に入った男女が、中でたまたま隣り合わせに座ったというふうにして、映画を楽しんでいる。素朴な技法で作られた作品が、純粋に映画を愛する人たちによって支持され、どの映画館もいつもみたいへんなにぎわいを見せている。

さて、あまり状況が知られていない3国を取り上げてみたけれど、どこにも共通するのは、映画を作りたい、見たいという人々の強いパワーが感じられることだろう。日本の映画が面白くなかったといわれるが、アジアに学ぶことが多いようだ。つい最近、イタリアの映画「ニューシネマパラダイス」がヒットしたけれど、私たちがそこに感じたノスタルジックな想いというのは、そのまま今のアジアに向けられるのではないだろうか。

していたが、市民の強い要望に勝てず、マスコミ自由化の一環として認められるようになった。今では100万台にも近づく勢いで、日本のB.S番組用ガイド誌も発行されている。

アメリカ合衆国のCNNが'80年代に入って海外へ向けて放送を開始したのをきっかけに、イギリスのスカイ・ニュースなど、衛星を利用した国際的なニュース放送局が生れ、現在では国際情勢を知るのに欠かせないものになってきている。そしてアジアでも、香港

のBNN（ビジネスニュースネットワーク）がアジア各国にむけて経済ニュースを供給するなど、国境を越えた衛星放送が生れつつある。情報が入り交じり、言葉や文化が電波にのって自由に各国間を飛び回るようになれば、アジア地域の情報による統一は、そう遠くはないさそうだ。

## 衛星放送は 万国の空を行き交う。

日本でカラーテレビがあたりまえになってから、わずか4分の1世紀の現在、ビデオやさらに衛星放送までが日常になくてはならないものになってきている。またテレビの普及が遅れていたアジアの国々でも、映像による情報が家族単位で受信できるようになってきた。そんな中で、日本のB.S番組の人気がかなりの勢いで上昇している。例えば、韓国では当初“文化侵略”として受信を認めていなかったのが、盧泰愚政権の自由化政策によって一気に普及が進み、20万台をこえるバラボナアンテナが各家の屋根やベランダに取付けられているという。台湾でも「日本語の放送禁止」からバラボナアンテナの設置を違法と



## Norma Jean

'92.1.21.ON SALE

NEW SINGLE "シャボンと彼女"  
C/W:C'MON BIRD(アルバム未収録) CD-S:BVDR-79¥930(TAXin)

NEW ALBUM "C'MON BIRD"  
CD:BVCR-72¥3,000(TAXin)

(NORMA JEAN LIVE '92)

4月4日:大阪・ミースホール 4月5日:名古屋・ハートランド 4月10日:東京・日公会館

(F.C.) F.C.「ノーマ寺院」 03-3448-9018 BMG VICTOR, INC.

# THE SECRETARY WOMAN

社長付きの秘書の方々、またちょっと気になる女性スタッフが登場。自身のプロフィールとあわせて、社長の意外な側面や会社の名物等を紹介していただきます。

- 質問 ■ ①アシスタントしている方は ②その方との関係はどのくらい ③二人の関係を何かに例えると  
④それだけはやめて、と言いたいことは ⑤「さすが!」と言いたくなるところは ⑥動物に例えると ⑦どんな職場ですか

## G.I.P.佐藤寿彦代表取締役の秘書、津田由紀江さん

G. I. P. との運命的な出会いは職安の募集記事。面接時には高橋マーチンに握手を求められたという美女は現在、社長室室長。またギャラリー、飲食店等の運営管理を任せられ、入社から6年半たった今では彼女のいないG. I. P.など考えられない!? S 34. 2. 9、宮城県仙台市出身。血液型A。

### ★質問のお答え

①佐藤寿彦代表取締役 ②入社時から ③まな板とまな板の上のこい→もがくけど、どうにもならない ④“ばくはつゴロー”になること ⑤“ばくはつゴロー”になった後のフォロー ⑥ライオン→社内でウロウロする姿が獲物を狙うライオンにも思える時がある ⑦元気な職場です



### ★津田さんの紹介する、うちの名物スタッフ

佐藤史敏氏 32歳、G. I. P. 常務取締役

スプーンを曲げる（折る）ことで有名なイベント。“なるようになる”がモットー。足りないものはすべて「気合い」でカバーできる貴重な存在。※佐藤氏の恐るべきスプーン曲げの瞬間は、ゾーニング Vol. 4を参照ください。

### ★ここだけの話ですが…

私が入社した時、社員は、12~3名。日中から社内でbingoゲームをしたり、寒い夜はおでんを煮て酒盛りをしたりと、へんな会社だなと思いつつも、当時はそういうノリについていかなくてはならないのだ！と納得し、そして現在に至りました。G. I. P. では、“ノリ”と体力、気合いが必須三要素（知性や理性はどうするんだ！？）。社員が40名近い現在では、おでんのようなイベントはなかなか出来ませんが、年に1回行なっているスポーツ大会は、まさにその集大成です。まだ参加したことのない社員は、そのウワサにビビッているようです。

### ★最後にひと言

魅力的な業界だと思います。奥が深いし…。もっといろいろなことを吸収して、GLOBAL (G.I.P.のG) になりたいですね。

◎ファンレターは、各事務所まで直接お送りください。

## (株)J音楽企画、久保佐和子さん

知人の紹介で入社したJ音楽企画で、現在、友の会、チケットの管理を行なっています。業界に入ってまだ10か月の初々しい彼女。これから深みにはまってゆくのでしょうか。 S 47. 5. 10、京都生れ。血液型A



### ★質問のお答え

①池田一営業宣伝チーフ  
②3か月ほど  
③親子→まわりからはそう見えるらしいので  
④地震かと思うような貧乏ゆすり  
⑤仕事の事などで注意した後のフォロー  
⑥よく働くナマケモノ→なんとなく  
⑦とにかく明るい

### ★久保さんの紹介する、うちの名物スタッフ

安田論史氏 22歳、肩書きなし  
カールおじさんに似ています。とにかく大きい。年がわかりにくいです。22歳には見えません。ふけてます。

### ★ここだけの話ですが…

Y氏は、朝、まともに事務所にいる事がないです。

### ★最後にひと言

まだまだ未熟者なのでがんばりたいと思ってます。

ニューアルバム1月25日発売

Sometime  
Somewhere  
小田和正

CDF-HCL-1003Y3 0001Y2\_9131 MTFHTL-1003Y2\_1001Y2\_6211  
・あなたを見つめて(INST)・恋する二人・小さな奇跡・思い出に変わるもので・あなたを見つめて・冬のテーマ  
・君に届くまで・二人の愛・風と君を持つだけいか・どこかで・時に抱かれて 正木のテーマ

同時に発売シングル  
第一生命バースト21 イメージソング  
いつか どこかで「風と君を持つだけ」  
CDS-FHDL-1006 MTS FHSL 1006 Y00009003



小田和正 第1回監督作品「いつか どこかで」全国東宝系 2月1日ロードショー

# HEAD LINE REPORT

セミナーの開講、業界関連団体と結束しての新しい委員会のスタートなど、充実した活動を続けるACPC。その主な動きを理事会からピックアップして報告します。

## ACPC理事長、(社)スポーツ産業団体連合会の新任理事に。

・ 91年6月に開催された社団法人スポーツ産業団体連合会の第3回通常総会にて、ACPCの井上理事長が新規理事に選任されました。

## 音楽産業の未来ビジョンが見える!?

音楽産業が現代文化産業の一つとして健全に発展することを願い、(社)日本音楽著作権協会、(社)音楽制作者連盟、(社)日本レコード協会をはじめ、㈱ぴあなど、ACPCを含む業界の各団体が参加して委員会を結成。通商産業省サービス産業課の指導のもと、音楽産業の現状調査、課題の検討から、今後の健全な発展方向・育成・振興方策までを話し合っています。

## 全国ホール協会へ入会。

公立民間あわせて約300のホールから構成される全国ホール協会へ、ACPCが賛助会員として入会することに決定しました。プロモーターとホールの間に残された課題の解決やコンサート業界の活性化に向けて、両団体の密接なつながりが期待されます。

## 第1回ACPCセミナー、いよいよ開講。

ACPCの新規事業として企画が進められていた、会員を対象とするセミナーがいよいよ、92年2月18日に開講されます。プロモーターを取り巻く様々な社会問題をテーマに、各方面から講師を招き、参加者全員によるディスカッションなど、会員同志の交流を含めて効果的な学習を目的としています。

## FMP-ACPC連絡協議会、名称新たに出発。

旧「FMP-ACPC合同研究プロジェクト」が名称を『FMP-ACPC連絡協議会』とし、両団体のより力強い結束によって再スタートをきりました。

## アジア音楽産業調査委員会、発足。

・ 92年4月に予定されている財団法人アジア音楽文化財団(仮称)の設立に向けて、日本レコード協会内に後藤由多加氏を委員長とするアジア音楽産業委員会が発足しました。ACPCは調査協力の要請を受け、香港、タイ、フィリピンの3か国を訪問調査しました

### <新規賛助会員>

(株)アルブ

(株)メルサット

●12月24日現在、賛助会員156社

## いよいよ『こどもえいど for ASIA Vol.3』

日本とアジアを音楽で結ぶ「こどもえいど for ASIA」が、いよいよ第3回となりました。今回の出演は、日本から甲斐よしひろ率いる KAI FIVE、国籍のないエイジアン・ポップスを楽しませてくれるサンディー、そしてゲストにシンガポールからディック・リーを迎えます。

ACPCが主催し、日本とアジア各国から現在進行形のアーティストたちが集まって行なわれるこのイベントには、これからアジアを創っていくだろうこどもたちへのメッセージが込められています。言葉や習慣は違つても、アジアはきっと一つ。体で感じるメッセージを受けとってください。

### ★「こどもえいど for ASIA」開催概要

開催日	平成4年2月17日(月)
会場	渋谷公会堂
開演	18:30(開場18:00)
入場料金	4,120円(消費税込み)
出演者	KAI FIVE サンディー <sup>ゲスト</sup> DICK LEE その他 (社)全国コンサートツアーアルバム事業者協会 通商産業省 日本自転車振興会 (社)音楽制作者連盟 (財)放送音楽文化振興会 (社)日本シンガポール協会 ニッポン放送 (株)メルサット
主催	(社)全国コンサートツアーアルバム事業者協会 通商産業省 日本自転車振興会 (社)音楽制作者連盟 (財)放送音楽文化振興会 (社)日本シンガポール協会 ニッポン放送 (株)メルサット
後援	
協力	
賛	

## After Edition

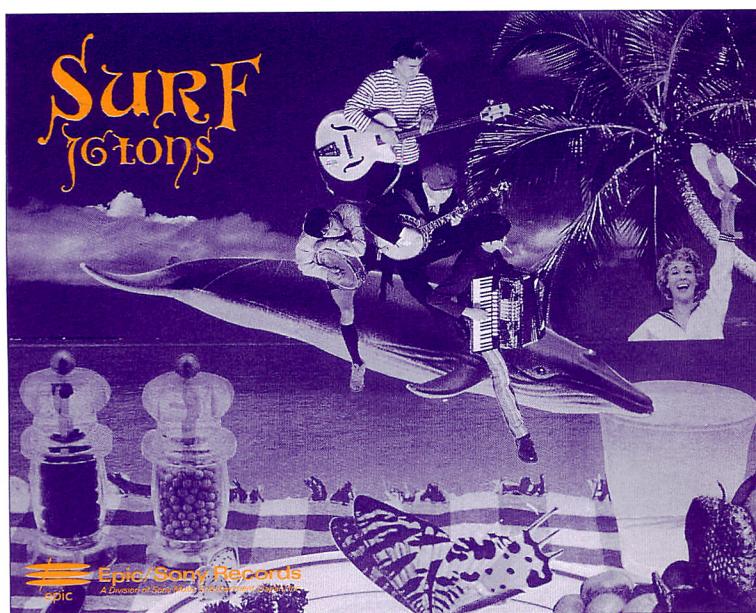
92年が始まりました。去年は湾岸戦争やソ連の崩壊、EC統合などで、世界が揺れに揺れた'91年でしたが、「世界の中の日本」がこれまで以上に問われた1年だったように思われます。また今年は、「アジアの中の日本」がもっとクローズアップされるでしょう。

音楽を通してアジアを見つめるACPC。そして、ゾーニングは今回の特集だけに終らず、ずっとアジアンパワーを追い続けたいと思います。言葉や習慣、国籍を越えて、だれのからだにも響き、だれの心にもとどく不思議な力をもった音楽を信じて。

★本誌に関するご意見、ご感想をお寄せください。また、楽しい話題、情報もお待ちしています。

### ▼あて先

〒150  
東京都渋谷区恵比寿西2-7-2  
ウインズビル6F  
TEL.03-5489-9811 FAX.03-5489-9814  
社団法人 全国コンサートツアーアルバム事業者協会



**サーフ  
16TONS** 2ND ALBUM ESCB 1273  
NOW ON SALE ¥2,800[TAX ON]

収録曲:ダイヤモンド熱病患者/BLACK MARKET/Hey Underground/MOTOR LOVE/時が来れば/Surf Dancing/ファイヤー・マンボ/STAND BY ME/夢の中/Zampanò/ウッキーさんのウイスキー/COME ON MY BANBI

ジャンル無視の16TONSが放つ第2弾アルバムは、バンジョー、アコデオンなどに加え、チューフラ・ベル、パンフ・オルガン、マリンバ、そしてたて笛までを駆使。トロンボーンに東京スカパラダイスオーケストラの北原雅彦まで迎えてしまった、超ハチャメチャ・アルバムです。

**BLACK MARKET 2ND SINGLE** ESDB 3268  
NOW ON SALE ¥800[TAX ON]

16TONS LIVE SURF 1992 1/27[月]渋谷公会堂 ディスクガレージ  
問03-5704-3200